

▶ コネクタ操作方法と注意点

1. コネクタ実装状態

ロックレバー（スライダー）開放状態での納入となりますので、FPC を挿入する前に、ロックを操作する必要はありません。

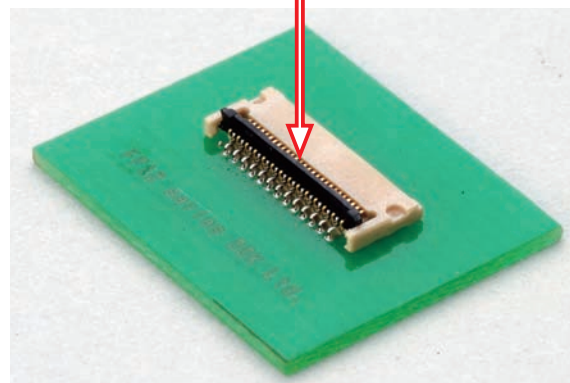
（写真①参照）

ロックを閉じた状態でリフロー実装しないで下さい。

注意

FPC 未挿入状態で、ロックレバー（スライダー）を閉じないでください。
FPC 未挿入状態でロックレバー（スライダー）を閉じると、
接点ギャップが狭くなり、FPC 挿入力が上昇します。

納入時のロックレバーは解放状態です

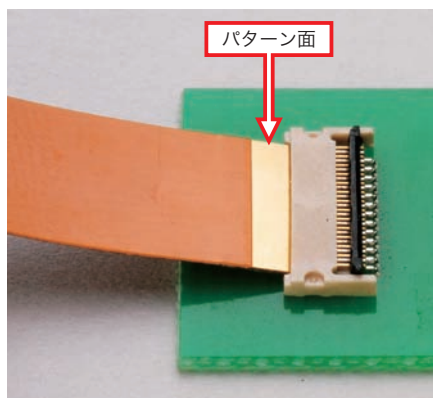


写真①

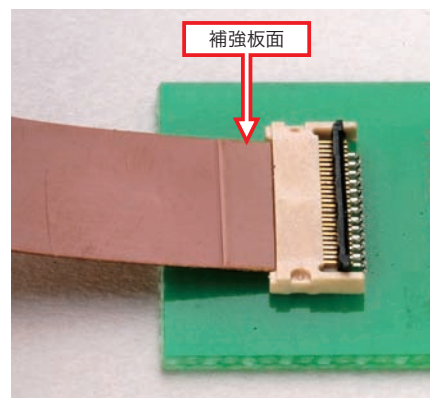
2. FPC 挿入方法

上接点使用時にはFPC 導体面を上、下接点使用時には補強板面を上にして挿入します。（上接点：写真②参照、下接点：写真③参照）

- ・FPC をコネクタに対して真っすぐに挿入して下さい。
- ・FPC 仮保持機構を採用している為、挿入に若干の力が必要です。
- ・FPC がしっかり奥まで挿入出来ているか、確認してください。



写真② 上接点

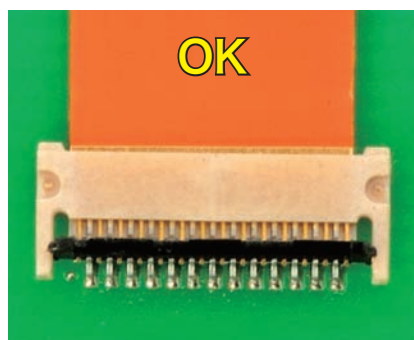


写真③ 下接点

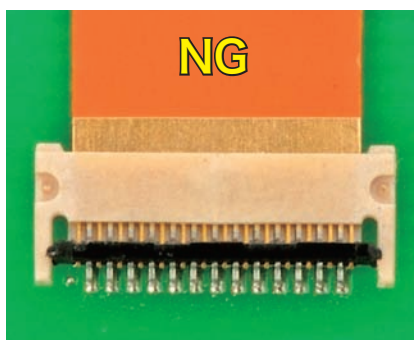
3-1. FPC確認方法(上接点の場合)

ハウジング上壁直線とFPC パターン境界線を比較する事により、浅挿入、斜め挿入を確認防止する事が出来ます。

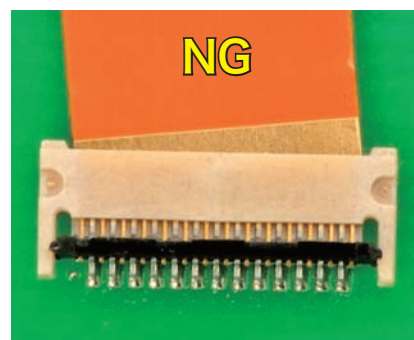
（写真④、写真⑤、写真⑥参照）



写真④ 正常挿入状態



写真⑤ 浅挿入状態



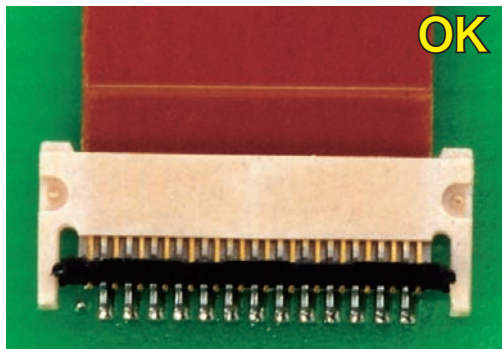
写真⑥ 斜め挿入状態

▶ コネクタ操作方法と注意点

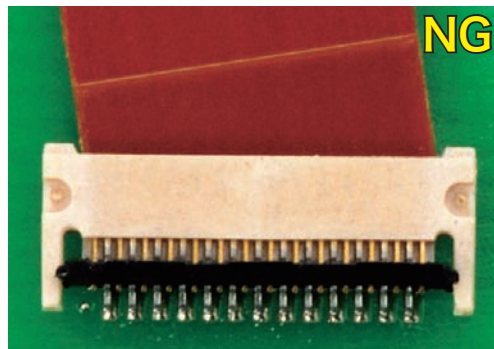
3-2. FPC 確認方法（下接点の場合）

※（FF18, FF20 シリーズは除く）

ハウジング上壁直線と、FPC 補強板境界線を比較する事により、斜め挿入を、確認、防止する事が出来ます。（写真⑦、写真⑧参照）
又、補強板に、FPC パターン境界線と同じ直線をマーキングすることにより、上接点同様の、浅挿入確認を行う事が出来ます。
（3-1. 参照）



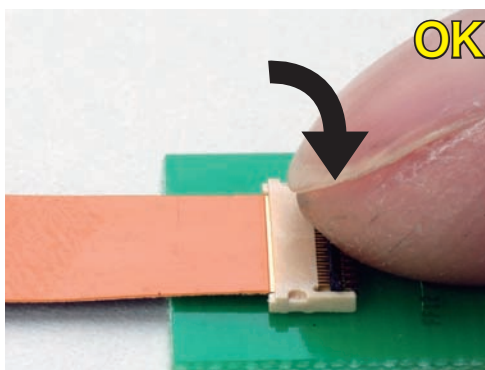
写真⑦ 正常挿入状態



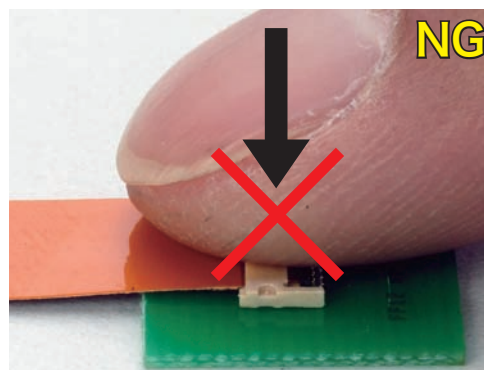
写真⑧ 斜め挿入状態

4. ロック方法

回転させる要領で、ロックレバー（スライダー）を押し下げます。（写真⑨）
その際に、ハウジングに無理な力をかけないように注意して下さい。（写真⑩）



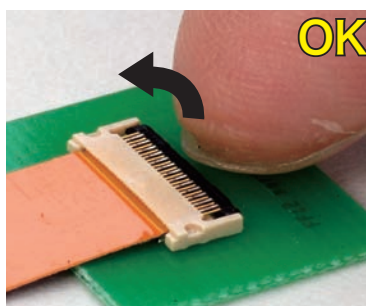
写真⑨



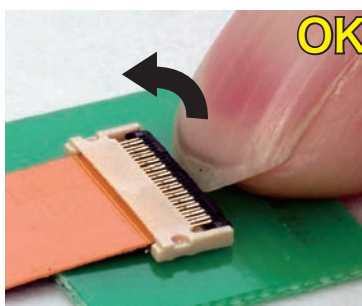
写真⑩

5. ロック解除方法（FPC 抜去方法）

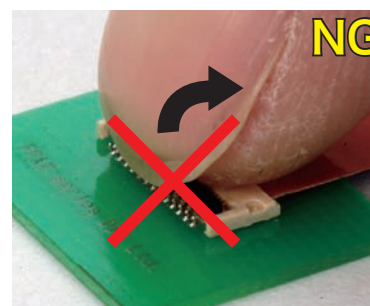
ロックレバー（スライダー）を矢印方向に軽く跳ね上げる要領で、押し上げます。（写真⑪、写真⑫）
その際に、必要以上の力をレバー（スライダー）にかけないように注意して下さい。（写真⑬）



写真⑪



写真⑫



写真⑬